

出没を察知するための ツキノワグマ痕跡識別ガイド

豊田市の森にも少なからずツキノワグマが暮らしています。クマの痕跡をいち早く見つけることで周囲に危険を知らせ、出没によるトラブルや農業被害を防止する対策につなげられます。この資料では、クマの痕跡の特徴や見分け方を解説します。



クマの食べもの

クマたちは雪が降るころになると地面や大木の穴に入り、春が来るまで冬眠します。冬は何も食べずに過ごすため、春から秋にたくさん食べて栄養を蓄えなければなりません。クマは果実や山菜のような栄養価が高く、一度に多くの量を食べられるものを好みます。このため、春にはイタドリなど大きな草や笹などに食べ痕が残るほか、夏から秋にはたくさんの木の実をつける樹木の下に折れた枝や糞などが見られます。



冬ごもり

- 何も食べず
メスは出産、授乳

冬



春

- 新緑の若芽や花など

痕跡

大きな草(山菜など)やササの新芽が多く生えているところで食べ痕が見られます。

夏

- 果実やハチ、アリなど



痕跡

特にカキ、クリ、ドングリの木に枝折れやクマ棚、爪痕、糞などが見られます。



痕跡

果実をつける樹木などに枝折れやクマ棚、爪痕などが見られます。



さまざまなクマの痕跡

糞

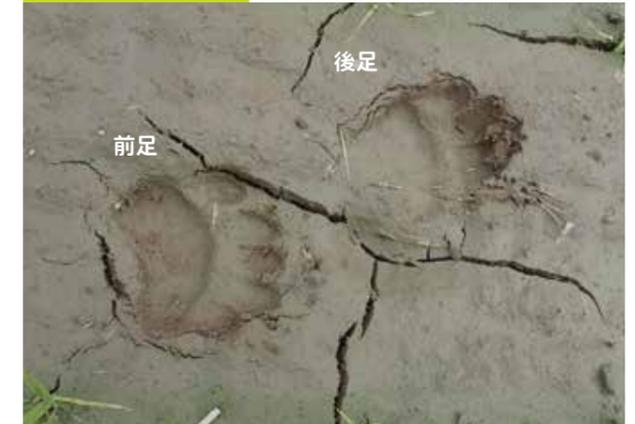
太くて大きく
食べたものにより色や形は様々



ドングリ類が多い落葉広葉樹林や果樹園などで見られる

足跡

前足は幅広、後足は縦長



水田や畑、泥地などに残りやすい

爪痕

木に爪を立てて
登り降りするときにできる痕

*写真は木からずり落ちる時にできた長い爪痕



ドングリ類や果樹によく見られる

クマ剥ぎ

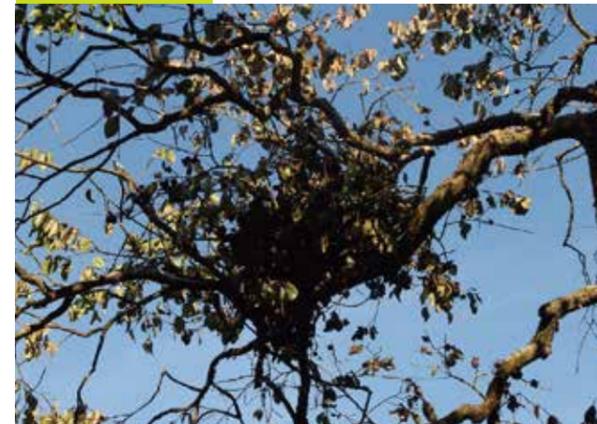
樹皮を剥いで
内側の柔らかいところを食べた痕



スギ、ヒノキなどで見られる

クマ棚

クマが果実などを食べる時に
枝を折って作る腰掛



ドングリ類(クリ、コナラなど)、カキ、サクラ類などでよく見られる

折られた果樹の枝

食べるときにクマが折った枝が
地上に散乱したもの



ツキノワグマを目撃したり、痕跡を見つけた場合は、旭支所、足助警察にご連絡ください。

問合せ先・連絡先: 豊田市役所 旭支所 電話 68-2211

令和4年2月発行

作成: 豊田市役所 旭支所

作成協力: 株式会社地域環境計画 (イラスト: すずきみほ)

* 過疎地域持続発展支援事業ツキノワグマ対策として作成

〔見分け方〕 糞・足跡

クマ

クマは植物を主食としていますが、植物の繊維や種子を十分消化できません。カキなど果肉が多い果実を食べた時は果肉をそのままペーストにしたような糞になります。糞は臭いがせず食べたものの香りがします。

草類を食べた植物繊維が豊富な糞



葉や茎などの植物繊維を多く含んでいます。糞がやわらかく、形がくずれています。

夏の山野の果実を食べた糞



イチゴ類などの小さな果実を食べたものです。種子がたくさん含まれ、写真のように形がくずれない糞もあります。

ドングリ類を食べた糞



ドングリやクリを食べた糞はペースト状です。まれにドングリの破片も含まれます。

サクラ類を食べた糞



多くの果皮と種子がそのまま残っています。

カキを食べた糞



- 前足は幅広、後足は縦長

クマの足跡は、大人の人と同じくらいの大きさです。前足は丸く、後足は長く残ります。また、クマは肉球が大きく肉厚さを感じる足跡で、アーモンドサイズ(以上)の短い5本指の跡が特徴です。



足跡

- 人の手に似た形で5本の長い指

(cm)
0
1
2
3
4
5
6
7



指の太さは1cm未満で、親指が分かる形をしています。

アライグマ



- 4本の短い指で左右対称 イヌ



左右対称の整った形で、前足と後足は似ています。

その他の哺乳類

山中で暮らす哺乳類の中には、クマに似た痕跡を残すものがあります

糞

- そら豆サイズの粒が集まった塊



イノシシの糞は、そら豆サイズの粒がぎゅっと集まり、つぶれて塊になっています。

イノシシ

- 小豆～大豆サイズの粒が独立



ニホンジカの糞は小さく、幼獣は小豆サイズ、成獣は大きくても大豆サイズほどです。また、粒が独立しているものがほとんどです。

ニホンジカ

- 太さ約1.5～2cmの新旧の糞が積み重なる



タヌキの糞は直径(太さ)が1.5～2cmほどと細めで、古いものから新しいものまで糞が積み上げられています(溜め糞)。新しいものは強い異臭がします。

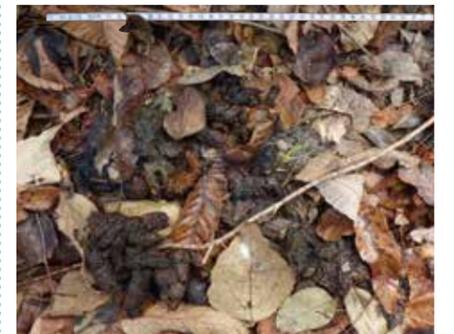
タヌキ



*ときには糞の粒が独立して散らばっていることがあります。



*春や梅雨の時期など、みずみずしく水分を多く含んだ草類を食べた時は、粒が押し固められた塊になります。



*季節によって食べるものが変わるため、色々な種子や昆虫の破片などが含まれます。

〔見分け方〕
木々に残す痕跡①

クマ

クマ
爪痕

- 爪痕が5本並ぶ
- 木の幹に深い爪痕が残る

クマは木に登り、春には若葉や花を、夏から秋にかけては木の実を食べます。体重が重く、5本指の太く上がった爪を幹に立てて登るため、樹皮には深い爪痕が残ります。また、掌を滑らせながら幹を降りることで長く伸びた爪痕が残ることがあります。

(cm)
0
2
4
6
8
10
12
14
16
18



爪痕(指)が5本並ぶ、爪幅(指)は2~3cmほど



幹に残された5本爪の痕。爪を深く立てた傷は幅5mmほどになります。

掌を滑らせて幹を降りたときの長い爪痕



木から降りるときに幹に残された長い爪痕。傷が深いと何年たっても消えません。

カキの木についた古い爪痕。数年が過ぎ、爪痕が朽ちています。

その他の哺乳類

その世
角研ぎ痕

ニホンジカ

クマの爪痕に似た痕跡を残すものがあります

- シカの目線高(120cm)よりも低いところで見られる
- 長さや傷の深さは様々

シカのオスは角の成長が止まり固くなる秋ごろに、角を木の幹にこすりつけて角の皮を剥がして磨く「角研ぎ」を行います。角研ぎはシカの目線の高さ(120cmほど)よりも低いところで見られます。時に角は深く刺さり、1cm以上の深い傷となります。

角研ぎ痕は平行にならず、長さや傷の深さは様々



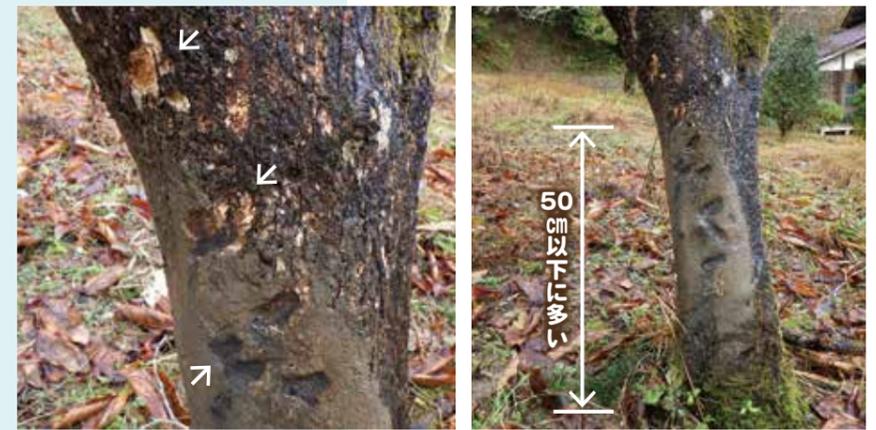
ニホンジカのオスには角が生えています。角は毎年春に落ちて生え変わります。角研ぎはオスたちにとって慣例行事のようなものです。

シカは様々な方向に頭を向けて角を幹に当てるため、角研ぎの傷は平行にならず不規則で、短いものから長いものまで、その長さや傷の深さは様々です。

その世
牙研ぎ痕

- 傷の形は楕円や台形で、幅2cmほど
- 地上から高さ50cm以下に多く見られる

イノシシも牙を研ぐため幹に大きな傷をつけます。傷は幅2cmほどあり、楕円や台形をしています。牙研ぎの多くは泥付け(身体擦り)と合わせて行われています。



アライグマ

その世
爪痕

- 小さな5本指
- ひっかき傷のような痕

アライグマはクマと同じく5本指ですが、その掌は小さく幹に残る爪痕の幅は通常1cm前後、最大1.5cmほどです。果実がなると、お決まりの木によく訪れることから幹にたくさんのひっかき傷が付いていることがあります。



〔見分け方〕
木々に残す痕跡②

クマ

クマ
は剥ぎ

- 初夏によく食べる
- スギ・ヒノキでよく見られる
- 3~4本の組になった
ほぼまっすぐな縦筋の痕

クマ剥ぎは、クマが樹皮を剥がし、内側の柔らかい部分を食べた痕です。木が水をよく通す初夏に、スギやヒノキなどの針葉樹で見られます。前歯3~4本が組になった歯形が特徴で、歯形の長さは10cmほどです。



長さ10cmほどの縦筋の痕

前歯で削るように食べるので、3~4本組になった歯形が縦方向にほぼまっすぐ並びます。

根本から上に向かって樹皮を引き剥がします。長いものは高さ4mに達し、歯形が残ります。



クマ
クマ棚

- 夏から秋に見られる
- 枝が重なり、冬になっても葉が残る

クマが折った枝は冬になっても落葉せずに葉が残るため、注意して木々を見れば簡単に発見できます。クマ棚がよく作られる木はミズナラ、コナラ、クリ、ミズキ、サクラ類など夏から秋に果実がたくさん実る木です。いずれの木も豊田市で普通に見られます。

クマ棚とは？

クマが樹上に登って果実を食べるときに、枝をたぐり寄せて折り、それをお尻の下に重ねて作った腰掛のことです。



冬のカマ棚
枝を折り、たぐり寄せて実を食べるので、木の下に枝が落ちていることがあります。

その他の哺乳類

その世
樹皮剥ぎ

ニホンジカ

- 初夏と冬に食べる
- スギ・ヒノキでよく見られるがカエデ類やツバキなども食べる
- 歯形は短くカーブし不規則に並び

クマと同じく木の皮を剥いで食べます

クマだけでなくシカも初夏と冬に樹皮を剥いで食べます。多くはスギやヒノキで見られますが、カエデ類やヤブツバキなどの広葉樹も食べます。クマ剥ぎと似るため、歯形や爪痕の有無を見て判断します。シカによる樹皮剥ぎは樹皮に残される歯形のほとんどがカーブを描きます。また、歯形は独立か2本組が多く、その長さは3~5cmほどと短めです。



歯形は短く、カーブし不規則に並びます。

クマの歯形のように3~4本組にはならず、不規則な歯形が特徴です。



植物

クマ棚と似ているボール状の植物です

その世
植物

- 丸く放射状に広がる
- 年間を通して緑色

ヤドリギ(植物)

樹木の枝に根を張ってボール状に育つ「ヤドリギ」という植物があります。クマ棚のように枝が重なった塊に見えるので注意が必要です。ヤドリギは通年緑色で放射状に枝葉を伸ばすのでクマ棚と見分けることができます。

